城東中学校だより

【カラー版を、ホームページに掲載しています】

NO.8　2022.7.20

発行者　城東中学校長

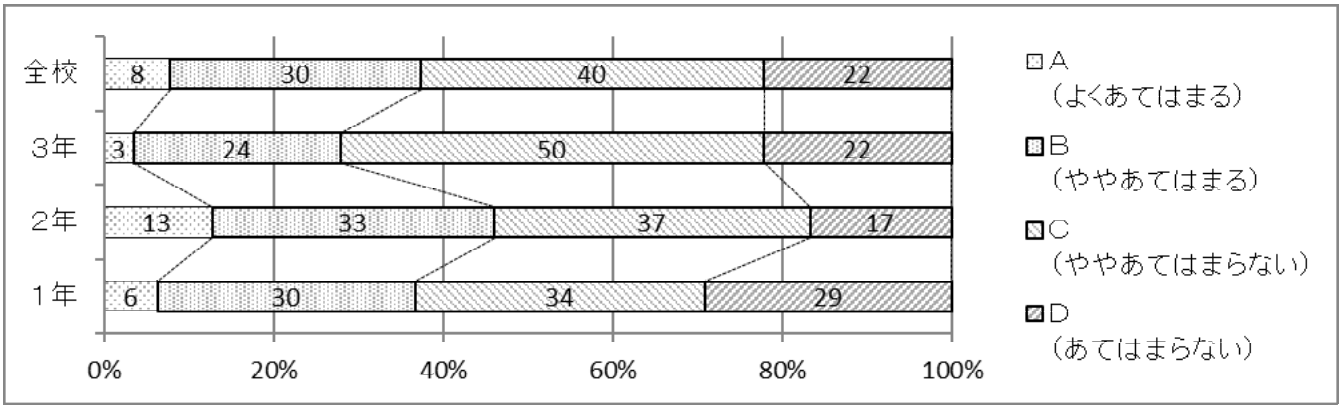
TEL　26－7022

1学期が終わりました。夏休みに入ります！

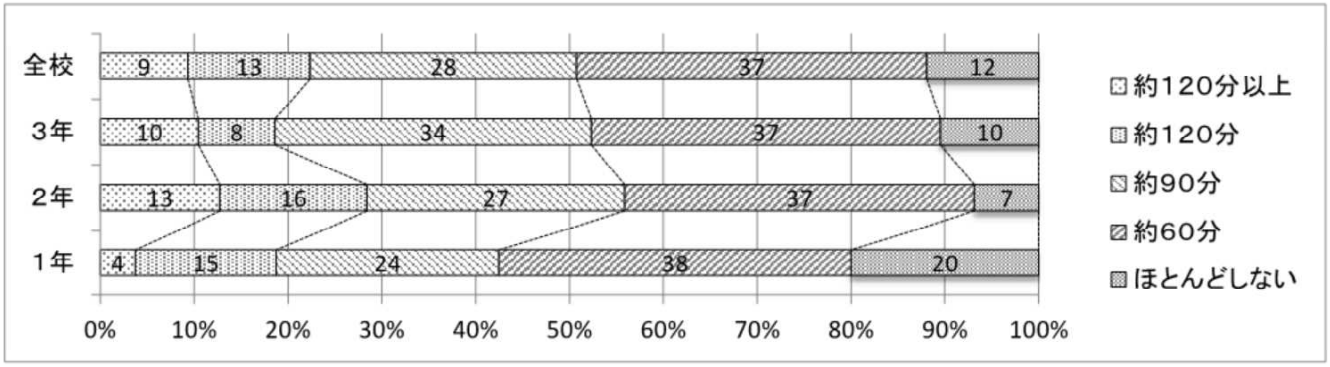
1学期に予定していた活動や行事などは、コロナ禍の影響をあまり受けずに、ほぼ予定通りに行うことができました。しかし、今月に入って、コロナウイルスの感染が7度目の拡大期に入ったため、1学期の終業式は急遽オンライン形式に変更しました。これからの長い夏休みを、健康に有意義に過ごしてください。

ここでは、再び学習について書かせていただきます。下に1学期末の生徒アンケートで家庭学習に関わる結果をあげます。

○平日2時間以上、休日4時間以上、家庭学習に取り組んでいる。



○平日の家庭学習の時間（塾や習い事を含みます）



昨年度の全国学力学習状況調査では、中学3年生の全国平均で、**「4割以上の生徒が平日に2時間以上の家庭学習を行っている」**ことが示されています。しかし、本校では平日に2時間程度と2時間以上を足した割合は**「約2割で、全国の半数の結果」**であることが分かりました。また、1年生の2割の生徒が、ほとんど家庭学習をしていない状況が判明しました。1年生の皆さんは、今は授業が分かっているかも知れませんが、家庭学習で「分かる」を「できる」にしていかないと、2学期の期末テストの頃には「分からない」ことがたくさん出てきてしまいます。特に英語や数学は一旦分からなくなると、分からなくなったことを分かるように改善している間に、授業がどんどん進んでしまい、分からないことが増えすぎて、やる気までなくしてしまうということがよくあります。

この夏休みに、家庭学習の習慣をつけて、分からなくなりつつある部分を改善し、2学期は「分かるところ」から授業にのぞめるようにしておいてください。繰り返しますが、「分からなくなってしまってから、努力し

ようとしても、授業は進みますから分からない部分が増えていってしまって追いつかない」ということにならないようにしてください。

1年生が人権学習でお話をお聞きしました！

7月5日（火）の3限めに、寺田市民館との出会い学習を行いました。「差別をなくす仲間になるために～“なかまとつながる”ために大切なこと～」という演題で、服部館長をはじめ、松村社会同和教育指導員、橋本主査、南人権教育推進員の4人の職員の方々から、寺田市民館の役割や、差別をなくし、人権を守るための活動や運動で大切にしていること、なかまとつながるためのキーワード等のお話を聞かせていただきました。差別をなくすためのキーワードとして、服部さんからは、「差別は、ほおっておいてもなくならない。なくそうとしっかり取り組むことでなくなっていく」「しっかり話をすることで、自分の知っている範囲を広げていく」こと、松村さんからは、「差別の心（ビーカーの泥）がビーカーの底にたまっているだけで、ふとしたはずみで泥が混ざってしまう。日頃からビーカーをチェックしていくことが大事」、「差別はマジョリティの価値観がつくるときがある。自分たちの環境や考え方等当たり前と思っていることが当たり前とは限らない」こと、橋本さんからは「Youメッセージではなく、Iメッセージを使って自分の気持ちを相手に伝えることが大切である」こと、南さんからは、差別に対する4つの立場（A：無関心　B：する　C：受ける　D：なくす）を切り口に、無意識のうちに差別に関係していることを、マジョリティ特権を例に話をしていただきました。また、差別がつくる厳しい実態として、「隠したい」と思った自身の体験談もお話いただきました。

1年生がキャリア教育で、お話をお聞きしました！

7月12日（火）の1・2限に、三重県立看護大学地域交流センター「みかん大出前講座」をお願いし、川島珠実先生に「将来の職業選択のために～どんな仕事に興味があるかな～」の講座を行いました。

はじめに、川島先生が今の仕事を選ばれた経緯や大学に通われている生徒の事をお話しいただきました。その後は、生徒が職業適性や様々な職業について、活動を通じて学習しました。

自転車の安全点検をしていただきました！

本校が伊賀警察署・伊賀地区交通安全協会から自転車安全教育推進モデル校に指定されました。そのため、7月11日（月）午前、自転車通学生の全ての自転車について、安全点検をしていただきました。ありがとうございました。自転車の安全運転に、継続して取り組んでいきます。

夏休み中の学校閉校日のお知らせ

伊賀市の全公立小中学校で、8月10日（水）～16日（火）を閉校日とします。

お急ぎの場合は、下記の連絡先にお電話をお願いします。

【連絡先】伊賀市教育委員会学校教育課　電話：0595－22－9649